

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科第1科	夜・通信	9単位	9単位	
		夜・通信			
医療専門課程	看護学科第2科	夜・通信	6単位	6単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R03/teacher_list.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://kyoju.ac.jp/financial/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	一般社団法人巨樹の会 代表理事	令和2年4月1日 ～ 令和6年3月31日	産学連携における指導、調整及び組織運営体制のチェック
非常勤	医療法人社団東京巨樹の会 理事長	令和2年4月1日 ～ 令和6年3月31日	学校運営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
1月中旬頃、外部講師へ次年度シラバスの内容を発送。第1科・第2科のシラバス担当教員が、外部講師から戻ってきた内容と本校で検討した内容を集約し、4月の新学期開始とともに新入生へ配布を行う。	
授業計画書の公表方法	第1科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R03/1ka_syllabus.pdf 第2科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R03/2ka_syllabus.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
授業科目の評価は、試験の点数を優(80点以上)、良(79点～70点)、可(69点～60点)、不可(60点未満)で判定し、可以上を合格とする。なお、科目によっては出席時間、授業中の態度などを考慮することができる。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全科目の平均点を算出後、「100点～90点」「89点～80点」「79点～70点」「69点～60点」「59点～50点」「～49点」の6段階の指標で分けることにより、成績の分布状況把握を行い、下位4分の1に該当する人数及び指標の数値を算出する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R03/shihyou.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校で履修すべき科目の全てにおいて、単位修得の認定を受けた者については、学校運営会議にて学校長が認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R03/nintei_graduate.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kyoju.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://kyoju.ac.jp/financial/
財産目録	https://kyoju.ac.jp/financial/
事業報告書	https://kyoju.ac.jp/financial/
監事による監査報告（書）	https://kyoju.ac.jp/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科第1科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	97単位	74単位	単位	23単位	単位	単位
		97単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		149人	0人	11人	86人	97人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 看護師免許（国家資格）取得を目的とし、1、2年次は講義、3年次は実習を主としたカリキュラムとなっている。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。授業科目の評価は、優（80点以上）、良（79点～70点）、可（69点～60点）、不可（60点未満）とし、可以上を合格とする。なお、科目によっては出席時間、授業中の態度などを考慮することが出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：教育課程に基づき、各学科の科目単位を履修すること。 卒業：本校で履修すべき科目の全てにおいて単位履修の認定を受け、学校運営会議で学校長が卒業を認定する。

学修支援等 (概要) クラス担任、教務部長による面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング等
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
48人 (100%)	3人 (6.3%)	41人 (85.4%)	4人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 社会医療法人財団池友会、一般社団法人巨樹の会及びその他の病院に就職			
(就職指導内容) クラス担任、教務部長による個別指導及び関連病院による就職説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許（国家資格）の取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
152人	4人	2.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康問題、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学時より専門職業人としての自覚を高めていくように研修等を行っている。また、学校生活では朝・夕のHRにおいて、担任が学生の状況を確認し、適宜面談等を実施している。特に、連絡無く欠席する学生については、その日のうちに本人または保護者に連絡をとり、必要時面接を行うなど迅速に対応しているほか、学生・保護者との面接内容によっては、スクールカウンセラーの活用を勧める等の対応を行っている。 学習が進むにつれ、学業不振となり精神面での不安を訴える学生が多くなるため、実習担当教員、実習指導担当者とも連携をとりながら早めの対応ができるように取り組んでいる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科第2科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	67単位	51単位	単位	16単位	単位	単位
			67単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		92人	0人	9人	30人	39人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 看護師免許（国家資格）取得を目的とし、1、2年次は講義、3年次は実習を主としたカリキュラムとなっている。
成績評価の基準・方法
（概要） 講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。授業科目の評価は、優（80点以上）、良（79点～70点）、可（69点～60点）、不可（60点未満）とし、可以上を合格とする。なお、科目によっては出席時間、授業中の態度などを考慮することが出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：教育課程に基づき、各学科の科目単位を履修すること。 卒業：本校で履修すべき科目の全てにおいて単位履修の認定を受け、学校運営会議で学校長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要） クラス担任、教務部長による面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45人 (100%)	0人 (0%)	44人 (97.8%)	1人 (2.2%)
（主な就職、業界等） 社会医療法人財団池友会、一般社団法人巨樹の会及びその他の病院に就職			
（就職指導内容） クラス担任、教務部長による個別指導及び関連病院による就職説明会の実施			

(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師免許(国家資格)の取得
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
146人	9人	6.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康問題、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学時より専門職業人としての自覚を高めていくように研修等を行っている。また、学校生活では朝・夕のHRにおいて、担任が学生の状況を確認し、適宜面談等を実施している。特に、連絡無く欠席する学生については、その日のうちに本人または保護者に連絡を取り、必要時面接を行うなど迅速に対応しているほか、学生・保護者との面接内容によっては、スクールカウンセラーの活用を勧める等の対応を行っている。 学習が進むにつれ、学業不振となり精神面での不安を訴える学生が多くなるため、実習担当教員、実習指導担当者とも連携を取りながら早めの対応ができるように取り組んでいる。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
第1科	250,000円	900,000円	310,000円	教科書代、実習費、実習用ユニフォーム代
第2科	250,000円	480,000円	220,000円	教科書代、実習費、実習用ユニフォーム代
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
家族入学優遇制度 専門実践教育訓練給付金制度(第2科 夜間定時制のみ)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 第1科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R02_1ka_jikohyouka.pdf 第2科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R02_2ka_jikohyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 【主な評価項目】 学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集など 【評価委員会の構成】 5名(専門家等評価委員、企業等委員、高校等評価委員、卒業生委員、地域委員) 【学校評価実施責任者】 副学校長 淀川 めぐみ 【学校関係者評価結果の活用状況】 <ul style="list-style-type: none">・授業評価については非常勤講師を含め実施していたが、結果を学生へフィードバックできていないことが課題であった。今年度はアンケート結果をグラフ化し、自由記載内容と共に各クラスに掲示した。内部教員については次年度どのように改善していくかその内容も含め掲示している。・シラバスは作成されているが、必要な要素が全て入っているか確認したほうが良いとの意見をいただいていた。理念に沿った教育課程は学生便覧とシラバスに示し、入学時、2・3学年の開始時に説明している。次年度の講義担当が早くから決められない為シラバスの教育内容は抽象的な個所もあるため、講義1回ごとの詳細な教育内容は開校時に示している。令和3年度分は、内部教員は講義ごとに内容を示すように準備した。・教員、学生の安否確認方法や周知についても明示しておく方がよいと意見をいただいていた。学生への緊急連絡手段はSNSを活用。学校のパソコン、担任の携帯電話から学生個人、学生全員に双方向で連絡できるようにしている。・卒業時満足度調査の結果から、コロナ禍でも満足度が高いことが伺え、時代のニーズに即していると評価していただいた。今後も実習施設と連携を図っていく中でニーズを把握して行く機会を設け、卒業生の情報も得ていく。 また、看護師として勤務した卒業生に本校での教育について評価してもらい次年度に活かしていく。・コロナ禍の中でカリキュラムは指定規則を遵守して運営出来たか、代替実習となった科目数や教育内容決定のプロセスや成果について学生による評価以外の記述があるとわかりやすい。また、シミュレーターの活用やルーブリックの導入についてねらいの達成状況がデータで示されるとわかりやすいとの意見をいただいた。 学生が学び方をイメージできるように看護技術教育をはじめとし卒業までの積み上げが見えるように教育内容・方法・評価の全体像が見えるように提示できるように努める。・退学者については改善がみられ、具体的に数字で示されているのでわかりやすいと評価していただいた。 退学者の低減に向けて、学生一人ひとりへの個別の関わり、学年を超えた学生交流の場の提供、全教員がいずれかの学年を担当する体制づくり、実習施設という学ぶ

場の変化や求められる実践対応力について共に考え気づけるような支援をした結果である。今後も継続していく。

- ・教員が丁寧に学生に関わっており、十分に国家試験対策ができていると評価していただいていた。しかし3名が不合格であった。学習の取り組みの動機付けと学習習慣の確保と継続性を課題とし、次年度は全員合格を目指す。
国家試験不合格者のフォロー体制については、次の国家試験までの過ごし方を確認し、本校において3年生と共に模擬試験を受験、特別講義に参加など支援していくことを説明し、参加を促すようにしている。
- ・学習指導について熱心で、学生の信頼や満足度が高いと評価していただいた。学生相談については、複数の教員で対応。また、2名のスクールカウンセラーを配置しており、学生が教員を介さず直接カウンセラーに予約し、カウンセラーが受けられるシステムとなっている。必要時には教員が学生にカウンセリングを勧めている。
学生の学習状況や学校生活上で気になる状況がある場合は、保護者に連絡をとり保護者と共に学生を支援している。例年各学年で保護者会を実施し、必要時個別に保護者面談を実施するなど、保護者との連携を図っている。
引き続き、学生一人ひとりの状況に合わせて学習支援、進路指導を実施していく。
- ・教育環境では、可能な改善に取り組んでいると評価していただいた。
COVID-19感染拡大により三密を避ける必要があったが、ハード面は急に改善できない為、できるだけ広い部屋を使用し、サーキュレーターを設置、常時換気、アルコール消毒や環境クロスの設置などで感染予防に努めた。使用方法の工夫を継続課題として環境整備に取り組んでいく。

【評価結果の活用方法について】

9月に開催する学校関係者評価委員会において、前年度の新規取り組み並びに4月以降の取り組みについて説明・報告を行い、委員より実施内容に対する自己評価の中間評価を受ける。その評価結果の中で課題等があれば改善点を整理し、今後の取り組みに反映させている。

3月に開催する学校関係者評価委員会においては、今年度の取り組みについて最終的な説明・報告を行い、委員より自己評価の終了評価を受ける。その終了評価を教員全体で共有したのち、学校評価責任者を中心として改善策を策定し、次年度の取り組みに反映させることで、「教育活動」「学修成果」「学生支援」等の更なる改善に努めている。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
純真学園大学（元）	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	専門家等評価委員
福岡和白病院	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	企業等委員
福岡県立須恵高等学校	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	高校等評価委員
福岡県済生会二日市病院	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	卒業生委員
福岡和白病院	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	地域委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第 1 科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R02_1ka_hyouka.pdf		
第 2 科 https://www.fukuoka-kango.jp/pdf/R02_2ka_hyouka.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.fukuoka-kango.jp/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	福岡看護専門学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		25人	23人	25人
内 訳	第Ⅰ区分	14人	12人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				25人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給
付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより
認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。